

令和3年度 美祢市人権教育ふれあい講座・リーダー講座



共に学び！共に生きる！



～一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて～

【第1講座を開催して】

7月21日（水）、美祢市民会館大ホールにおいて、令和3年度美祢市人権教育リーダー講座（第1講座）が開催されました。

『男女共同参画に関する問題』から、「DVの根絶に向けて」をテーマに、山口県男女共同参画相談センター 所長 山根 由紀（やまね ゆき）氏から、「配偶者からの暴力のない社会をめざして」と題して御講演いただき、DVの現状について、事例をもとに詳しく教えていただきました。DVの背景には、男女の経済力の格差や社会的地位の差、性別役割分担意識等があること、社会全体として、このような固定的な考え方や意識を変えていく必要があることがわかりました。さらに、面前DV（子どもの前でのDV）そのものが児童虐待となること、DV被害の被害者が暴力から逃れにくい状態にあることなど、DVがもつ悪影響についても学ぶことができました。講演のなかでは、全国や県内のDV相談件数のデータが示され、年々増加傾向にあることや、コロナ禍のために相談したくても相談しにくい状況が生まれている現状も知ることができました。



【受講者の主な感想】

- DV加害者がストーカー化しないような社会になるように、どのように取り組むのがいいのか考えさせられた。
- 自分にも男女の役割（分担）に関して、根強く残っている考え方などがあることを再認識した。
- あまり知識のない分野だったので、講演を聞くことができとてもよかった。DVと一言で言ってもたくさんあったのに驚いた。
- 今まで自分自身で気づけなかったことをいろいろと学ぶことができた。様々な問題が提示されたが、もう少し時間を費やして説明を聞けたらと思った。
- 身近でDVに関する話を聞かないので実感がわからないが、相談しづらい状況の方が多くいるということに驚いた。
- 自分が思っていたよりも多くの方がDVに苦しんでいることを知りました。実例やデータも知ることができて良かったです。ありがとうございました。
- 真の平等権の実現に向けて、解決すべき課題であることがよくわかりました。
- 相談機関があること、たくさんの方に知ってほしいです。気軽に相談できるといいです。
- 法整備が追い付かないが、痛ましい事案がなくなる社会になることを願うばかりです。

- 性別・役割意識や固定概念について、しっかり考えていかないといけないと強く感じました。DVと虐待は密接なものなものであると再認識しました。
- DVや虐待等、統計で見ると予想より多いことがわかった。どうしたら防ぐことができるのか、子どもを虐待から守ることができるのかと思う。
- 子どもが健やかに成長していくために家庭が果たす役割（父母の良好な人間関係）は大切だなと改めて感じた。まだまだ「男はこうで、女はこうだ」という意識は根強く残っているが、そこを断ち切り、互いに尊重できる社会の雰囲気醸成していかなくてはと強く思った。子どもたちの代まで引き継いではいけない。
- DVが減らない原因が数値からもよくわかった。どんな理由であれ暴力は許されないということ。人権感覚を磨かなくてはならないと思った。子どもに対しても同じである。
- DVは男女間の問題であるものの、今までは加害者と被害者の個人的な問題としてとらえていたため、男女共同参画という社会的な問題とあわせて議論することに若干の違和感を抱いていた。しかし、今日の講座を拝聴して、DVの背景には自分も含め多くの人の意識の根っこにある性別役割意識などの男女共同参画に関わる問題が関係していることがわかり、当事者だけでなく、社会で解決していくべき問題であることがわかった。
- 今、誰ひとり残らず救済するといっているが、そういった風潮になっていない。数字の優位で割り切って対策を考えていたり、少数派の方には対策がなされなかったり。そう言った要因として、より深い闇があるように思えた。
- 女性の経済力の向上が、DVから逃れられない経済的不安の解消に役立たないか。教育によるアプローチができないか、気になった。
- たくさんのことが分りました。どんな場面であっても暴力をふるうことは許されないことを伝えていかなくてはいけないなと思いました。相談することが大切だと思いました。
- こんなに多くのDV被害があることに驚いた。子どもの家庭で起きているかもしれないと思いつつ見つめていきたい。
- 業務で今日の講座の内容にかかわっているが、制度概要や山口県の状況など、わかりやすく説明していただき、参考になった。
- DV相談があった時に、どこに相談すればよいのかわかった。なぜDVが減らないのか…。悲しくなります。
- 自分の職場において男女共同参画がなされているかどうか、全体で考える必要があると思わされた内容でした。
- 暴力は身近なものにとらえ、絶対にいけないもの。身近で見かければすぐに相談にのってあげ、積極的に解決してあげたいと思った。
- 女性に対する差別は根深いものですね。いつになれば世界レベルになるのでしょうか。意識を高めていきたいですね。
- 法律、被害者に対する支援等、知らないことが多く、大変参考になった。
- これからの子どもたちのためにも、暴力のない社会をめざしたいと思いました。また、身近に該当の方がいらっしゃったら「あなたは悪くない」と声をかけます。
- 性別役割意識や結婚に関する社会通念など、最近ニュース等でも話題になっている内容が、どれだけ強く根づいているものなのか、改めて感じました。簡単に変わっていくものではないけれど、少しずつ改善してほしいです。
- 面前DVも虐待にあたることがわかった。どの家庭にも起こり得るDVを意識したい。
- 男女平等について、まだ日本は根強く不平等となっていて残っている。「女性だから」ということをいつになったら解決していくのだろうと思います。暴力のサイクルがあることを知った。怖いのは児童虐待である。DVと児童虐待が結びついていることを忘れてはならない。
- DVをしていないか妻と話し合ってみます。互いが気づいていない部分があるかもしれません。とても良いお話を聞くことができました。